

第1巻 原始・古代・中世

第1章 自然

- 第1節 位置
- 第2節 面積
- 第3節 地形
- 第4節 地質
- 第5節 地史
- 第6節 気候
- 第7節 多賀城市の植生
- 第8節 多賀城市の巨樹・保存樹木
- 第9節 多賀城市の動物

第2章 旧石器時代

第3章 縄文時代

- 第1節 縄文時代の幕あけ
- 第2節 優れた漁撈文化
- 第3節 名ハンター縄文人
- 第4節 縄文人のくらし
- 第5節 葬制と呪術
- 第6節 土器づくりと編年

第4章 弥生時代

- 第1節 はじめに
- 第2節 東北地方の弥生文化
- 第3節 まとめ

第5章 古墳時代

- 第1節 はじめに—古墳時代とは
- 第2節 東北地方の古墳時代の始まり
- 第3節 多賀城市周辺の古墳時代
- 第4節 おわりに

第6章 奈良・平安時代

- 第1節 律令政治の確立
- 第2節 多賀城の設置
- 第3節 多賀城の変遷
- 第4節 多賀城と東北の城柵
- 第5節 古代都市多賀城
- 第6節 多賀城碑

第7章 鎌倉時代

- 第1節 治承・寿永の乱と東北地方
- 第2節 柳之御所跡
- 第3節 鎌倉幕府の陸奥国支配
- 第4節 鎌倉武士の東北移住
- 第5節 鎌倉期の多賀城の主な武士
- 第6節 多賀城と総社宮・塩竈神社
- 第7節 多賀城市内の板碑の消長

第8章 南北朝時代

- 第1節 北畠顕家の奥州下向と陸奥国府
- 第2節 南北朝の内乱
- 第3節 室町幕府と奥州経営
- 第4節 奥州四管領の抗争
- 第5節 内乱の進展と武士の自立化

第9章 室町・戦国時代

- 第1節 奥州探題制の成立と多賀国府
- 第2節 国人留守氏
- 第3節 伊達氏の接近
- 第4節 留守政景

第10章 考古学からみた中世の多賀城

- 第1節 はじめに
- 第2節 多賀城跡における中世の様子
- 第3節 新田遺跡発見の武士の屋敷跡
- 第4節 上級武士の拠点—館と屋敷
- 第5節 中世陸奥国府—考古学的予察—